

SEMANARIO DE S. PAULO

No. 537

15-AGOSTO - 1930

Livraria Craveiro
Completo sortimento de livros
escolares, objectos para escriptorio. Artigos photographicos e
para pintura.
Avenida 7 de Setembro-LINS

書店
クラベイ

T. Takara
CIRURGIÃO DENTISTA
ARAÇATUBA

寶臣衛
齒科醫

北西線
アラサーフーパ
オラボピラック
シネマ裏通り
三〇番

学校用書籍
書類用品
文書、事務用具
其他雑品
Livraria Craveiro
Completo sortimento de livros
escolares, objectos para escriptorio. Artigos photographicos e
para pintura.
Avenida 7 de Setembro-LINS

Dr. H. Saito

MEDICO

士學醫等藤齊

街ヤシレデイ フンコンニ市ルウバ
五三……六

右の者の現住所を知り度きに付本
人又は御存知の向うは至急御一
報を乞ふ
明治卅三年三月廿日生
昭和五年七月十日
在バウル
帝國領事館

本籍 和歌山縣伊都郡花園
村大字染瀬八八七

前勝之助

尋人

聖文新報

semanario de S. Paulo
Rua Platão, 4-35, 4-72
caixa Postal, 53 BAURO
Diretor e Redactor
ROCKO KOWYAMA

ASSIGNATURA
Anno 25\$000
Semestre 16\$000
Trimestre 8\$500
Mes 3\$000
Semana \$800

社主 喜山六郎

編集二段段
一回四百元
全三三五五

年金五五五五

年金五

明治時代思想の延久りさ、例へばメーザの上や棚の上に本が載つかつてゐる、それらは何だか娘な氣氛をする上に一寸の暇を見つけても書むんだね、此の際家長なるものは小言に變る急ぎもせぬ用を云ひ付るんだね、で當人はどうするかと云ふと、こんな氣氛をしてまで讀むより全然手を付かない方がいいと云ふアキラマをしちまうんだ實際可哀想やないか、尤も舊い人達の家に見る圖なんだが「うむ全くだね」

〔所謂農家なるものゝ舊習慣だね、第一本を讀んで何になる人ないとやられるんだからね、功利的の前の利益でないものは悉くノンプレステーといふヒドイ定義なんだから堪らないよ〕

「實際助らないね、而し何處とかの青年會は青年會と家長とが渾然一體となつて色々の事業までやつてゐるし、開設以來の結果も仲々い」と云ふ事を聞いたよ」

「大いにいゝ事だね、それが理想なんだとして最も當然な事な大だよ、井の中の蛙大海を知らずであるより偶にはそんなところに視察旅行などして見るといふんだがね」

「視察旅行か、でも君のロジックで行けば差當り費用と暇との物議の種となるしね」

「まあいじじやないか、もつと雨の音迫るほのと夕明り「大分話した様だね、時に何時だい」とK

「もう止もうとも話し切れるもんじやない、暫らく會はなかつたもんだからね、後は又来週さ……これから歸つてレンニヤでも取つとこうよ」

「うそかい」

K椅子から立上る、私は両手で顔をゴシ／＼擦るそして後頭部を三つばかりたゞく。【完】

◇ 聖報歌壇 ◇

大地、黒土、常夏の空に浮ぶや入道雲その灰色の影薄く流れ去り行く人の世の

大 地 雨 築 生

八月の空は蒼いな

□ 投稿歡迎 □

◇ 新鮮なる植民地實話。◇詩・俳句・創作論文。◇その他植民地に關する事柄あれは別に規定は設けません。◇但し紙上匿名は差支へなき編輯部迄は住所氏名明記のこと

